

『岩農のシンボル』
いとひば

このいとひばは、岩農の創設地、白河小峰城から須賀川校舎、そして現在の鏡石校舎へと移植を繰り返し、岩農118年の歴史を守っています。



福島県立岩瀬農業高等学校

時代の進展に対応した魅力ある農業高校をめざします

校長 志賀 勲

明治41年創立、今年118年目を迎えた本校は、校地面積41haの広大な敷地の全てを学びのフィールドとして恵まれた教育環境にあります。また、農産物生産管理の国際認証制度「GLOBALG.A.P.」はもとより、JGAP、FGAPの認証取得を教育活動に取り入れ、本県農産物の風評被害払拭を図る目的で、誇れるふるさとを復興・再生する活動に取り組んでいます。本年度も、GAP認証食材を生かした商品開発や海外輸出等、国内や海外へ向けた教育に力を入れながら、様々な取組みを発展させ、高い専門性の習得や地域の活性化に貢献することを目指します。

『教育目標』

- 1 関係機関との連携を図り、福島から国内や世界へ広がる新しい学びを実践します。
- 2 豊かな人間性を育む教科等横断的な学びを実践します。
- 3 個々の生徒の学力やコミュニケーション能力を高める教育活動を実践します。

【 岩農グローバル・アクション ～福島から世界へ広がる 新しい学び～ 】

農業教育の拠点校として、農業の専門的な知識・技術を習得し、それを活用できる豊かな教養や実践力を身につけた、地域産業を支える人材を育成します。また地域や世界を視野に入れた学びに加え、SDGsに対応した学びや生徒の夢や進路目標の実現につながる学びを展開することにより、時代の進展に対応した魅力ある教育活動を行います。

令和7年度の重点目標

1 「生きる力」の育成

- ◎ 基本的生活習慣の確立
- ◎ 道德教育や豊かな人間性の推進
- ◎ 部活動・農業クラブの充実・活性化
- ◎ ボランティア活動の推進
- ◎ 生徒の自立を支える寮教育の充実

2 学力の向上

- ◎ 基礎学力の定着
- ◎ 授業の充実やわかる授業の実践
- ◎ プロジェクト学習の充実
- ◎ 実験・実習などの専門教育の充実
- ◎ 学び直し学習の研究

3 進路目標の実現

- ◎ キャリア教育・職業教育の充実
- ◎ 早い段階での進路ガイダンス
- ◎ 資格取得の推進や各種検定の奨励
- ◎ 自己理解の促進・進路意識の高揚
- ◎ 大学・短大への進学率の向上

4 開かれた学校づくり

- ◎ 地域や関係機関との連携
- ◎ 商品開発や海外輸出等の実践
- ◎ GAP教育の推進
- ◎ 広報（情報発信）活動の充実
- ◎ SDGsに対応した学びの実践

自己肯定感の醸成・自己教育力の育成